

WIS 運用実施に関するワークショップの開催について

気象庁は、東南アジア諸国を中心とする8か国の気象機関から幹部及び実務者レベルの職員を招聘し、平成24年10月22日から24日にかけて標記ワークショップを開催します。

1. 背景

日々の天気予報や警報・注意報の的確な発表のためには、全世界の気象観測データの相互交換など国際的な協力が不可欠です。そこで、世界気象機関（WMO）ではより効果的なデータの国際交換を行うため、WMO 情報システム（WIS）という情報通信基盤の構築を新たに進めています。WIS は全球情報システムセンター、データ収集・作成センター及び国家センターから構成されます。当庁は、第16回世界気象会議（平成23年5月）において、全球情報システムセンターと8つのデータ収集・作成センターに指名され、世界に先駆けて平成23年8月1日から運用を開始しています。

当庁は、これまでも東南アジアを中心とする国に対して様々な技術支援を積極的に行うことにより、国際貢献と我が国の国際的プレゼンスの向上を図っています。標記ワークショップもその一環として開催するものです。

2. ワorkshop概要

本ワークショップでは、東南アジア諸国を中心とする各国への技術支援の一環として、WIS の概要や当庁が運用している全球情報システムセンターの概要・機能についての講義に加え、既に運用している各種センターが提供する機能の利用を念頭に置いた実践的な通信技術の指導等を行います。

日時 : 平成24年10月22日（月）～24日（水）

場所 : 気象庁本庁 大会議室（5F）

参加機関 : バングラデシュ気象局、カンボジア気象局、ラオス気象水文局、ミャンマー気象水文局、フィリピン大気地球物理天文庁、スリランカ気象局、タイ気象局、ベトナム水文気象局

<本件に関する問い合わせ先> 気象庁予報部業務課 03-3212-8341（内線 3351）

【当庁が運用するセンターの一覧】

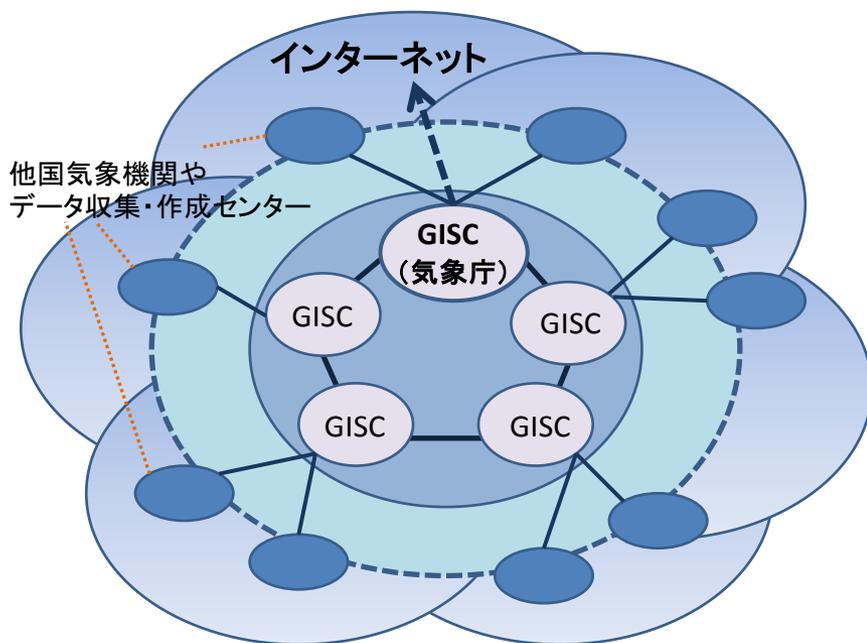
- 全球情報システムセンター
- データ収集・作成センター
 - 気象衛星センター
 - 熱帯低気圧に関する地域特別気象センター
 - 数値予報センター
 - 環境緊急対応のための地域特別気象センター
 - 全球長期予報プロダクト配信センター
 - 地域気候センター
 - 温室効果ガス世界資料センター
 - 地区通信センター

【略語】

- WMO (World Meteorological Organization : 世界気象機関)
- WIS (WMO Information System : 世界気象機関情報システム)

世界気象機関情報システム(WIS)

- 気象・気候の監視・予測を行うためには、全世界的な気象データの交換が不可欠。
- 情報通信技術の発展による、気象データ交換を行うシステムの高度化への要請。
- WMO及び全ての関連プログラムを支援する情報システムの必要。
- これらの要請に応えるため、平成24年1月に世界気象機関(WMO)は、**世界気象機関情報システム(WIS)**の運用を開始。
- 気象庁は、本システムの中核である全球情報システムセンター(GISC)の一つとして、その役割を担っている。



WISの構成図(イメージ)

気象データ交換システムへの要請

- ・柔軟性を持ったシステム
- ・汎用的な通信プロトコル・ソフトウェア・ハードウェアの利用
- ・プログラム相互間の連携を容易に

- ・従来の専用線を用いた気象情報交換システムの改善に加え、インターネットを用いたデータ提供を開始
- ・データ検索可能なカタログの構築

WMO及び全ての関連プログラムを支援し、**気象データの利活用を推進**